

事業名	社会教育振興費			調書番号	96
細事業名	社会教育関係団体活性化事業費補助金	財務コード	159304		
担当部課室	教育委員会 部 社会教育 課 社会教育振興 担当 (内線)	8355			

I 事業の概要

実施期間	始期 H17 年度 ~ 終期 年度
実施主体	補助(山梨県社会教育振興会)
目的	<p>だれ(何)を対象に 地域の教育力を高めることを目的として活動している社会教育関係団体及びその関係者</p> <p>その対象をどのような状態にして 各種の社会教育関係団体が事業を通して連携・協力・交流等を図ることにより、団体活動の活性化を進め、地域の教育力を高められている。</p> <p>結果、何に結びつけるのか 社会が人を育み、人が社会をつくる好循環を生み出す環境作り</p>
内容	<p>○社会教育振興フォーラム 社会教育関係団体の関係者が一堂に会し、討論、情報交換を行うことにより、地域の教育力の向上を図る。 11月10日(土)甲斐市総合文化会館 内容:多文化共生社会を目指して(講演、県政出張講座、展示)</p> <p>○体験交流 社会教育関係団体の人材、地域の自然、施設を活用した体験活動を実施し、地域に根ざした社会教育の振興を図る。 親子しめ縄づくり、親子和太鼓教室、親子で楽しいキャンプ生活体験、留学生による「母国紹介出前授業」等、8団体11事業</p> <p>○社会教育関係団体指導者養成事業 社会教育関係団体指導者の資質向上を図るため研修会を実施する。 社会教育研究大会 講演及び事例発表(県社教委連との共催) 指導者養成研修 講演及び分散会(県PTA協議会との共催)</p>

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	研修会参加人数(社会教育研究大会及び指導者養成研修)	目標	200	200	200	200	200	200
		実績(見込)	191	163	180	156	242	200
		達成率	95.5	81.5	90.0	78.0	121.0	100.0
		達成区分	b	b	b	c	a	b
成果指標	研修会参加満足度(社会教育フォーラム)に参加して、4段階評価のうち、「よい」と評価した人の割合	目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績(見込)	40.0	93.3	31.3	70.0	79.0	80.0
		達成率	50.0	116.6	39.1	87.5	98.8	100.0
		達成区分	c	b	d	b	b	b
決算(予算)単位:千円		765	779	722	728	685	700	700

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	a	評価	参加者は予定数を大きく超えており、多くの参加者に見識を広げてもらうよい研修となり、良好な活動量であった。
成果指標	b		概ね高評価となった。「だいたいよい」を含めると100%となり、有意義なフォーラムを開催でき、地域の教育力の向上に寄与した。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	社会教育に関する知識や情報の収集は団体の活性化のためには不可欠である。また、各団体を支援することは地域社会を活性化する手立てとなる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(研修会の時間設定、時間配分を見直す。)
その他	説明	研修会の余裕を持った時間設定や意見交換等をできるよう時間配分を検討する。
見直しの必要性	有	研修会の時間配分等の見直しをすることにより、参加者の意見交換の時間を設けるなど、講演内容の深まり・理解度の向上につなげる必要がある。

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	研修会の時間配分等の見直しをすることにより、参加者の意見交換の時間を設けるなど、実施方法を変更する。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。